



八間川はどこから・どうやって・どこへ流れる？ (農業排水路側)



ため池



雨水などはいくつかの水路を通して浦益川に集まり、八間川につながります。ところどころため池があり、農業に活用されています。山には果樹を栽培するためのビニルハウスがみられます。



このあたりは
あつちが多いね。



合流地点



ここで浦益川と工業廃水路が合流します。東から流れてきた農業排水は、ここで工業廃水路の下をくぐりクロスして、八間川の西側を流れるようになります。

宅地化



かつては水田が広がっていたが、宅地化が進み、新興住宅もみられます。

行政上の区別ではここからが浦益川です。

樋門



浦益川と東三間川(福田用水)が交差するところでは、浦益川が下をくぐって流れ、八間川(農業排水路側)につながります。用水と排水が交じり合わないような設計の構造ですが、用水が多い場合にはオーバーフローして浦益川に流れ込みます。

川を上って行くと
農村風景が広がって
くねくねした
ため池があるね。
昔の地図にも
描かれているんだよ。



集水エリア



集水エリアの上流部にはより多くのため池がみられます。

真弓池



ため池の1つ真弓池。



集水エリアとは

図に示したエリアから雨水、農業排水、生活排水などが水路等を通じて浦益川に集まり、八間川(農業排水路側)につながります。このエリアのことを集水エリアといいます。つまり、どれだけのエリアから雨水や排水が八間川に流れ込んでいるのかを示しています。一方の工業廃水路についても集水エリアが存在し、そのエリアから工業廃水や生活排水などが流入します。しかし、これらはあくまで市が把握しているものだけであり、厳密なものではありません。